

切除可能膵癌の術前 化学療法、その効果を どう予測するか：



参加費
無料

次世代モノクローナル抗体技術の
活用を目指して

ZOOM
ウェビナー
開催

開催
日時

4 / 15

水

16:00～17:00

※多少お時間が前後する可能性があります。お時間に
余裕をもってご参加をお願いいたします。

会場

オンライン開催
(ZOOM ウェビナー形式)

タイム
スケジュール

16:00～16:10...iBody 株式会社による技術紹介

16:10～16:45... 特別講演「切除可能膵癌の術前化学療法、その効果をどう予測するか：
次世代モノクローナル抗体技術の活用を目指して」

16:45～16:55... 質疑応答

特別講演 16:10～16:45

講師



谷内 恵介 先生

高知大学医学部消化器内科学講座 准教授

膵癌の予後予測マーカー「PODXL/ITGB1」を標的とした、FFPE 組織染色対応の高感度抗体を iBody 社の技術により開発。本抗体を用いた術前化学療法の効果予測により、個別化医療の実現と社会実装を目指す取り組みを詳説する。

高知医科大学（現 高知大学）医学部卒業後、同大学附属病院・消化器内科にて臨床に従事。その後、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターおよび米国ネブラスカ大学医療センター・エプレイ癌センターにて、膵癌を対象としたゲノム解析や癌抗原の研究に取り組んだ。帰国後、高知大学医学部附属病院・内視鏡診療部特任准教授を経て、令和元年より現職。消化器内科および内視鏡診療に従事するかたわら、高知大学発ベンチャー「サルスサイエンス株式会社」を設立。産学連携を通じて、膵癌に対する術前化学療法の効果予測マーカーおよび新規治療法の研究開発を推進している。

運営
お問合せ先

事務局 TEL：052-753-8654

iBody株式会社 〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種 2-22-8
名古屋医工連携インキュベータ 417

お申込 URL▼
<https://x.gd/b01nG>

